

令和5年度 全国学力学習状況調査 <国語>

朝来中学校

◆全体的な概要

- ・全体で全国平均・兵庫平均をわずかに下回る正答率であった。
- ・学習指導要領の領域では「話すこと・聞くこと」は上回り、「書くこと」「読むこと」に課題が見られた。

◆本校生徒に定着していると考えられる資質・能力

- ・音読に必要な文語のきまりは理解できている。 (4一:我が国の言語文化に関する事項)
- ・聞き手の興味・関心などを考慮して、表現を工夫したり、本文の内容を踏まえながら、自分の考えをまとめたりすることはできている。 (1四:話すこと・聞くこと)

◆本校生徒に課題があると考えられる資質・能力

- ・情報と情報との関係を捉え、適切な言葉で表現することには課題がある。 (1二、3三:情報の扱い方に関する事項)
- ・表現の工夫とその効果などについて捉え、自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書くことには課題がある。 (3一、3四:書くこと)
- ・文章の構成や論理の展開、表現の仕方について捉え、評価することに課題がある。 (2二、4三:よむこと)

◆指導改善のポイント

- ・情報同士の結びつきに注意しながら、話の要点を捉え、意見に対する根拠を示せるように指導する。具体的な資料を正確に読み取り、その内容を踏まえたうえで、自分の意見を明確にまとめる活動で指導を図る。
- ・論説文や意見文などの文章を比較するなどして読み、文章の構成や論理の展開、表現の仕方について捉えるよう指導する。また、文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について自分の知識や経験などと照らし合わせて、意見が持てるよう指導を図る。
- ・関心のある事柄について批評した文を書き、論理の展開などについて、読み手からの助言を踏まえ、自分の文章の良い点や改善点を見出せるよう、指導する。ペアやグループでの意見交換やタブレットを用いて、クラス全体で一つの文章を検証し、考えさせる指導を行う。